

旅の者よ

貴方が  
落としたのは  
この金の剣  
ですか？

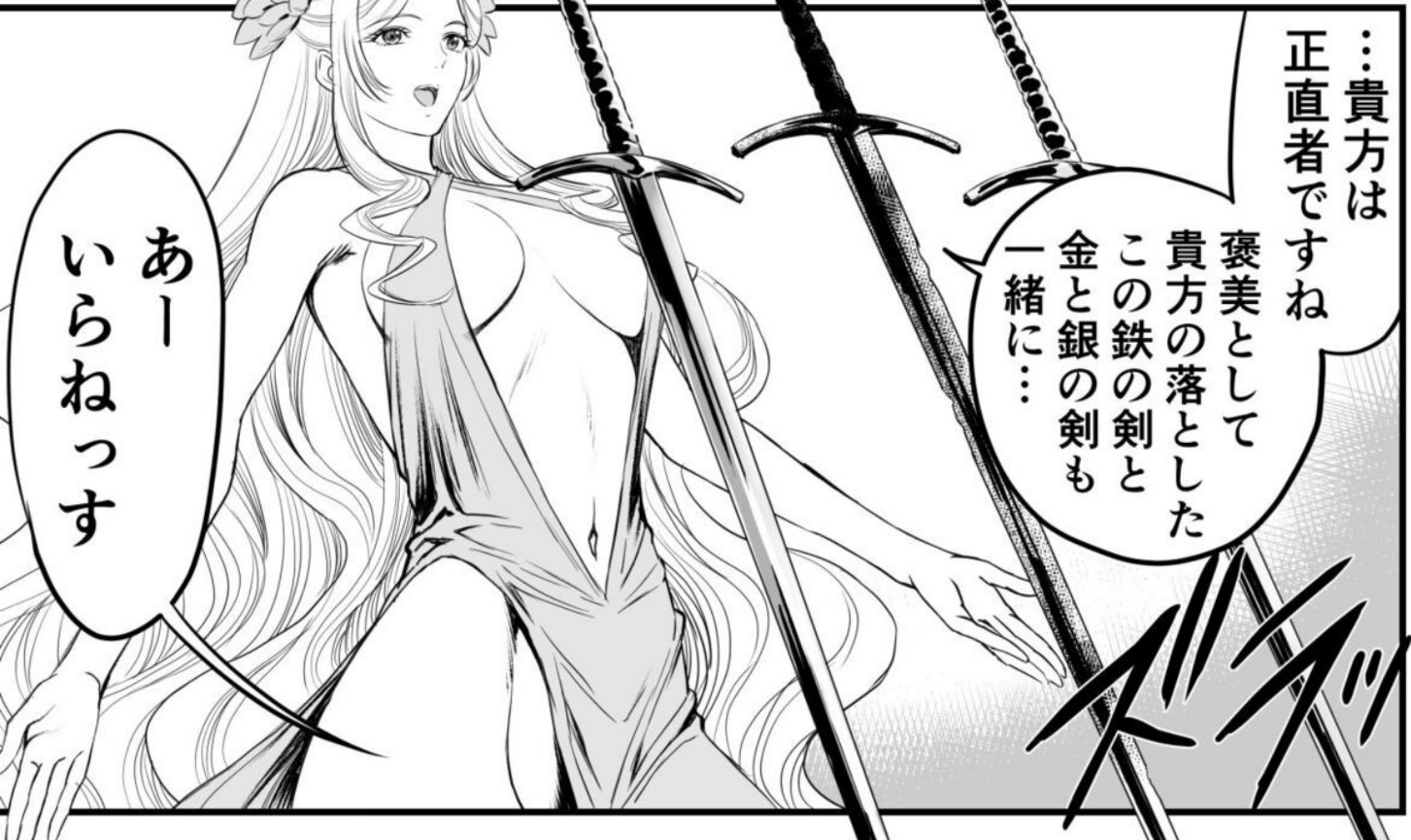
和キ.



…いいえ  
違います

では  
この銀の剣  
ですか？

イヤキ…  
それでも  
ありません



…貴方は  
正直者ですね  
褒美として  
貴方の落とした  
この鉄の剣と  
金と銀の剣も  
一緒に…

あー  
いらねっす



ですが…

…本当に  
いらねいの  
ですか？



え…？

金の剣も  
銀の剣も



オレが  
欲しいのは



ああ  
いらねえよ  
剣はな



もちろん  
オレの捨てた  
そのナマクラも  
いらねーっての



数日前



すっげー  
マジ金と銀  
じゃん!!

だろー  
あの泉のウワサ  
本当だったんだよ!



ウワサってあの  
泉に得物落としたら  
ってやつだろ?

そーそー  
そしたら本当に  
出てきてよ

でー……



…ふーん  
なるほどね  
そりゃ面白い

金とか  
銀とか

そんな  
くだらねー  
モンより  
他にあるだろ

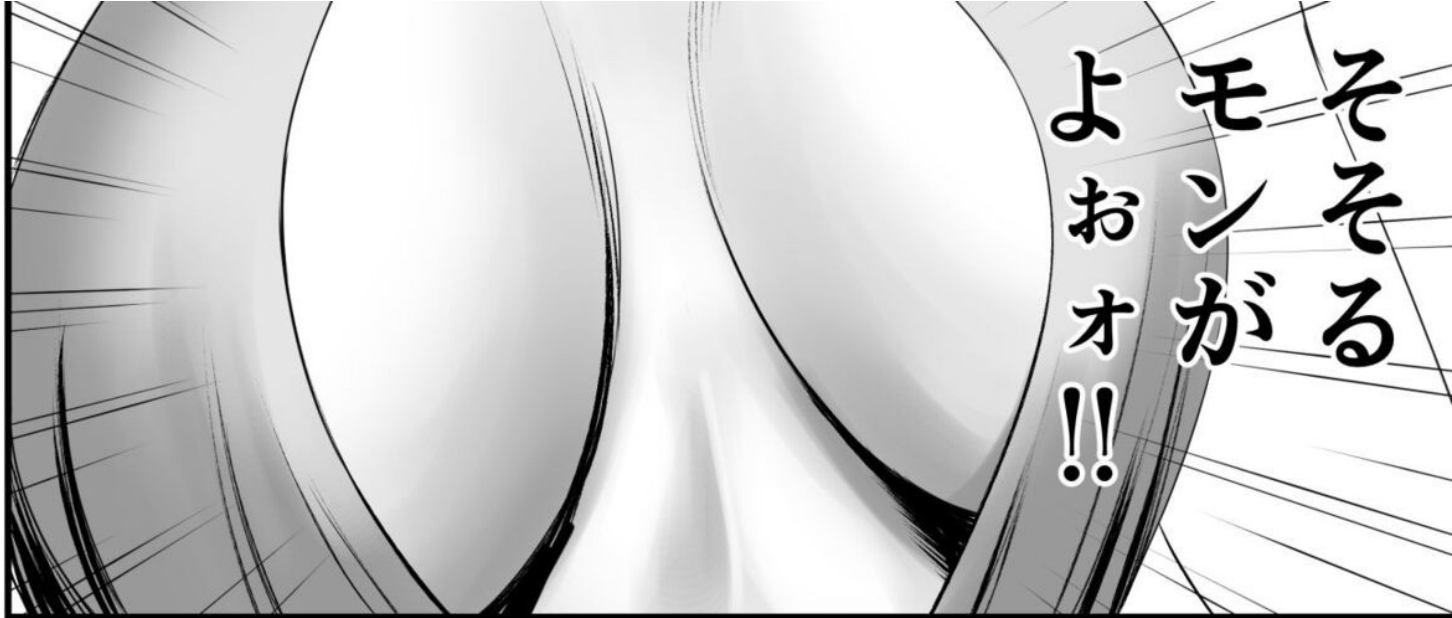


だがよオ  
バカじゃねーの  
お前

価値のある  
モンが

そう  
もつと……

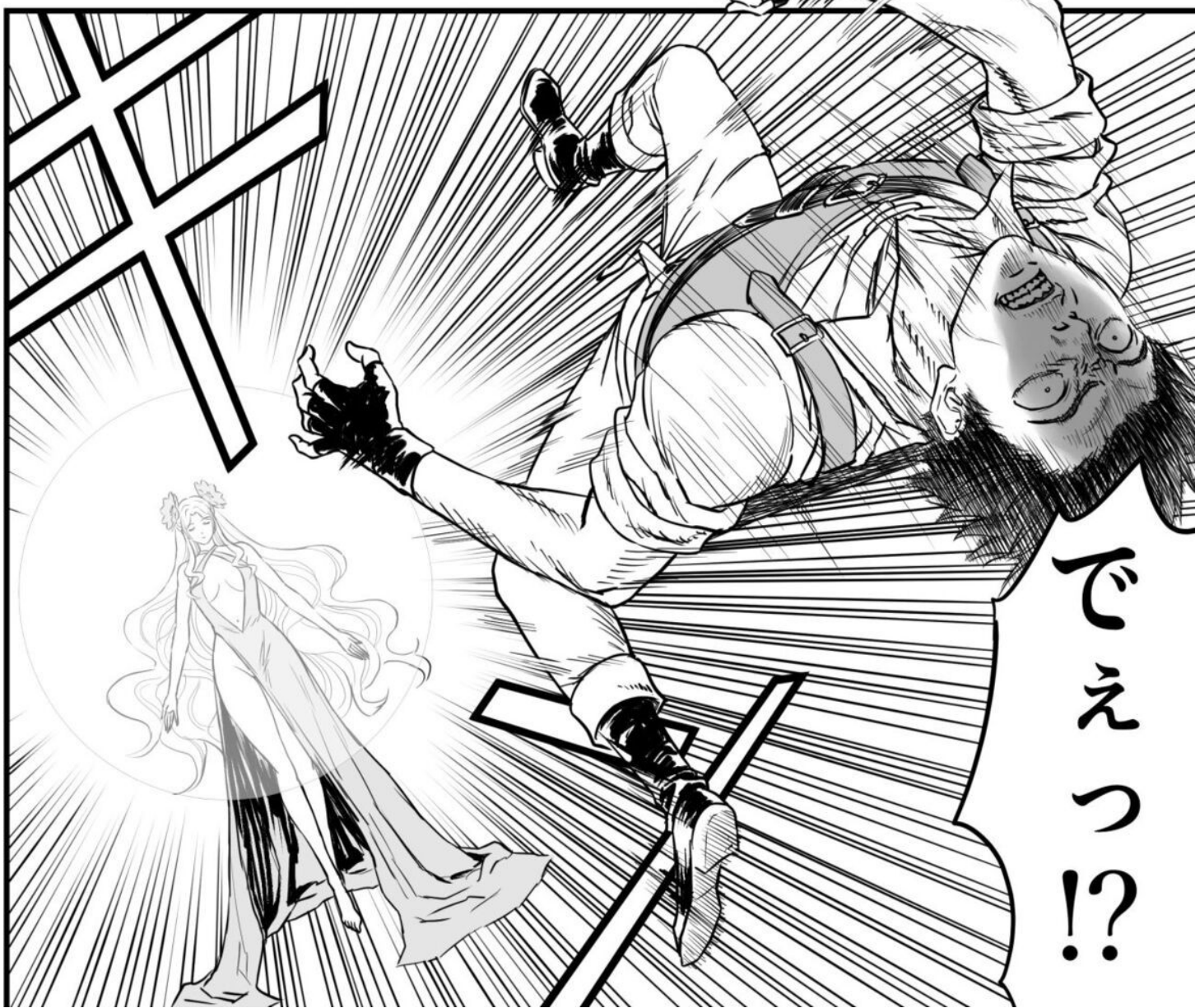




そそる  
モンが  
よおオ!!



…クス



でえっ!?



…永いこと  
この泉で数多の人間を  
試してきましたが…

跳びかかってきた者は  
初めてですね

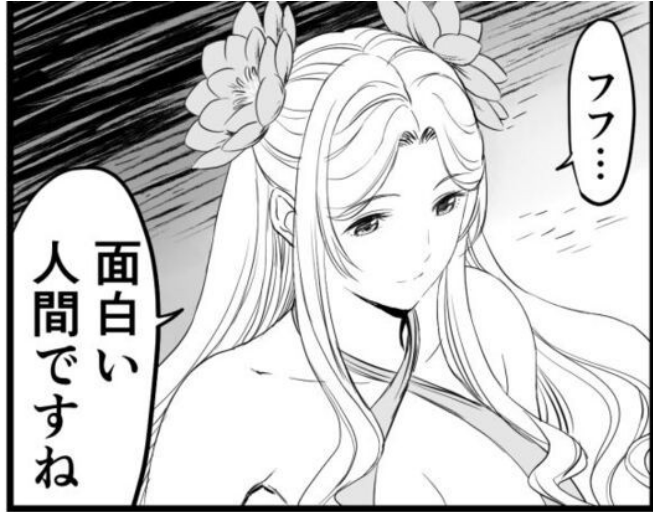


いててて…  
さすが女神様  
だ…!

ズ  
ル  
ル  
ル  
%

そこら辺の  
女のビンタとは  
威力が違うねえ





フフ…

面白い人間ですね



金銀よりもおっぱいだろ!!

マジかよ!? アンタみたいなベツピンさんを前にして!?

誰一人も!?



そうさオレは正直者さ

正直者にはご褒美を…だろ?

まるで飢えたケダモノのような眼で私のカラダを凝視している



そんな軽口を叩きながらも

…確かに貴方は正直者ですね



…いいでしょう 貴方に試練を与えましょう







なんだよ  
この泉…!!

グボ…!!  
どんだけ  
深いんだ  
……!!



くっそ…  
おっぱいが

乳輪が…!!

わしや  
どんだん  
遠ざかって  
いく…!!



やべ…  
意識が

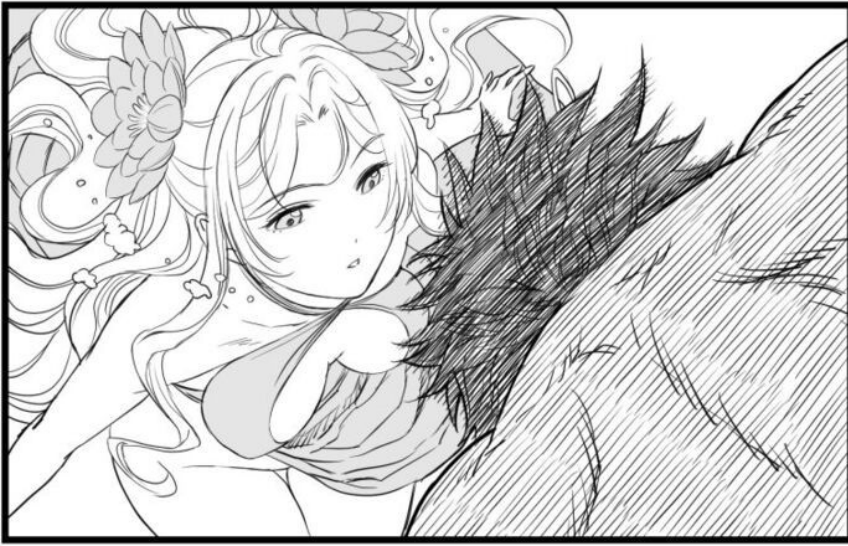
視界が  
暗くなって  
いく…



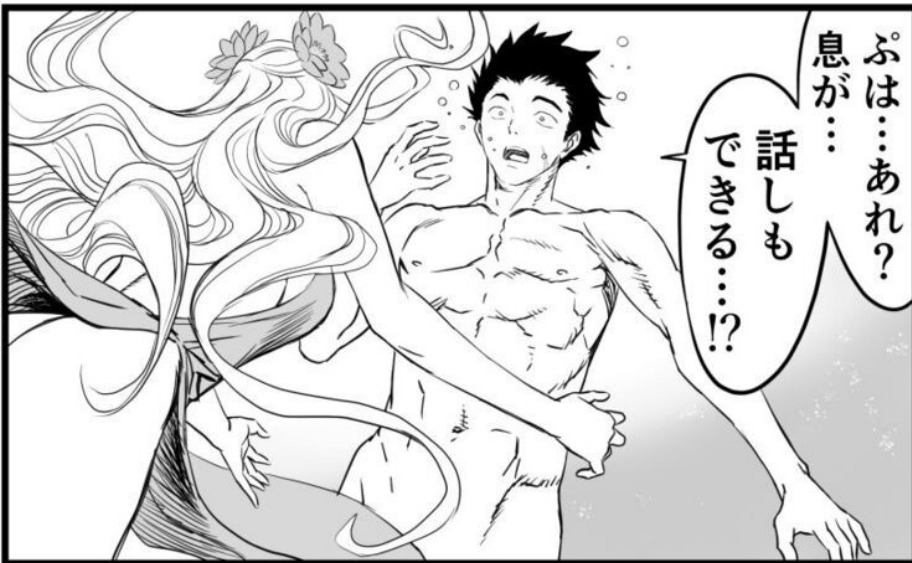
おっぱい…

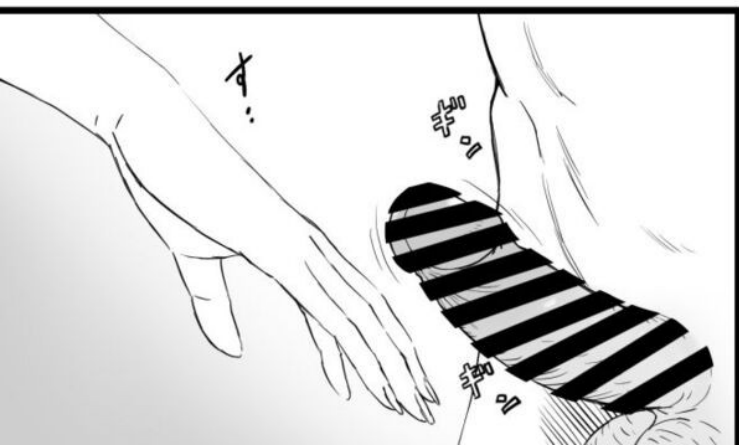
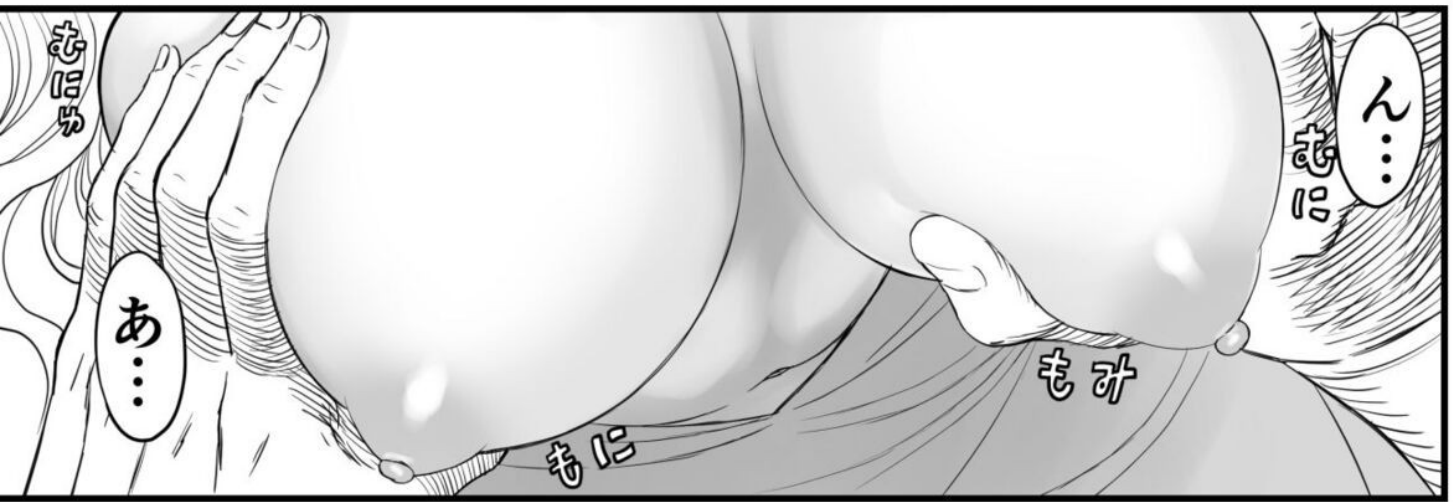
……



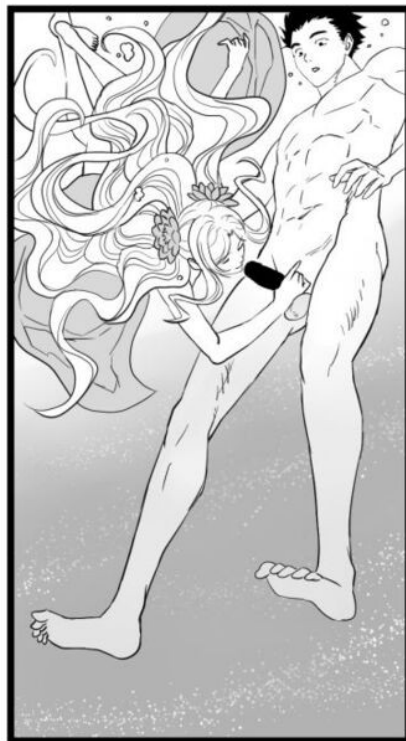


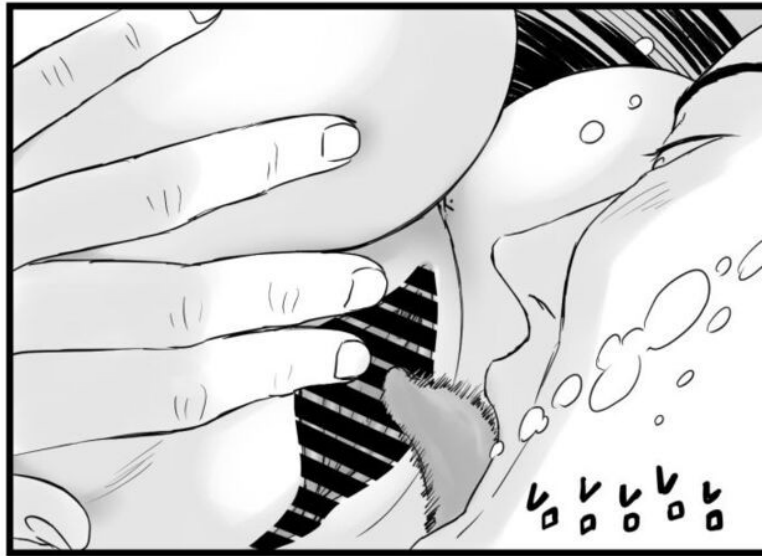
















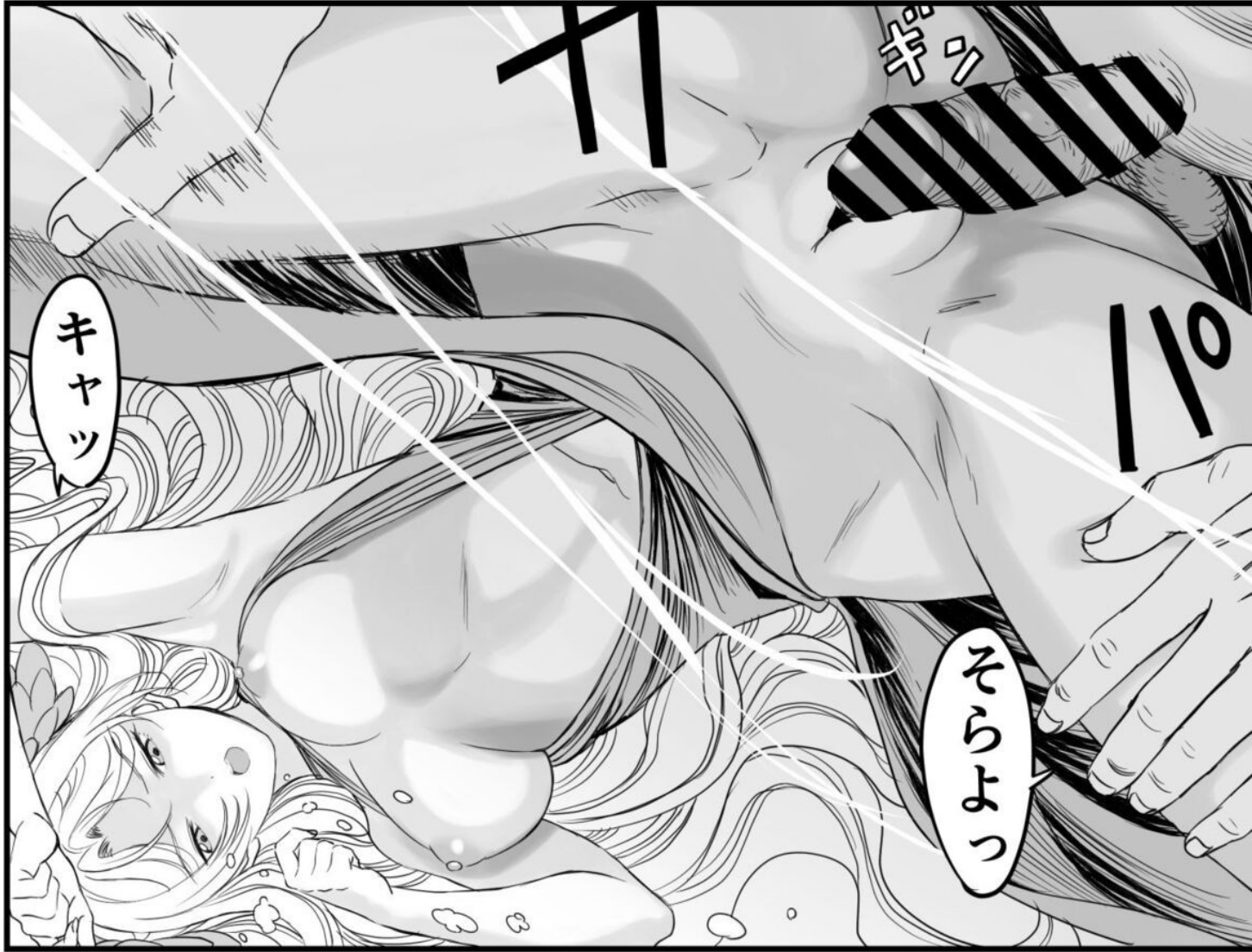
そんなわけ  
ないだろ!

カシ



二回も  
出しちゃったら

ごほーびは  
もうおわり  
かしら?



キヤツ

そらよっ



だったら  
早く入れて

あー

女神を  
焦らす気?



水中で  
イマイチよく  
分かんねー  
グチョグチョ  
けど  
アンの  
コユだってもう  
なんだろ?

ザリ

ザリ



苦手なんだよ  
焦らすのはっ

んああっ  
いきなり  
深いっ



たまんねえ

女神様の  
マンコ  
たまんねえ!





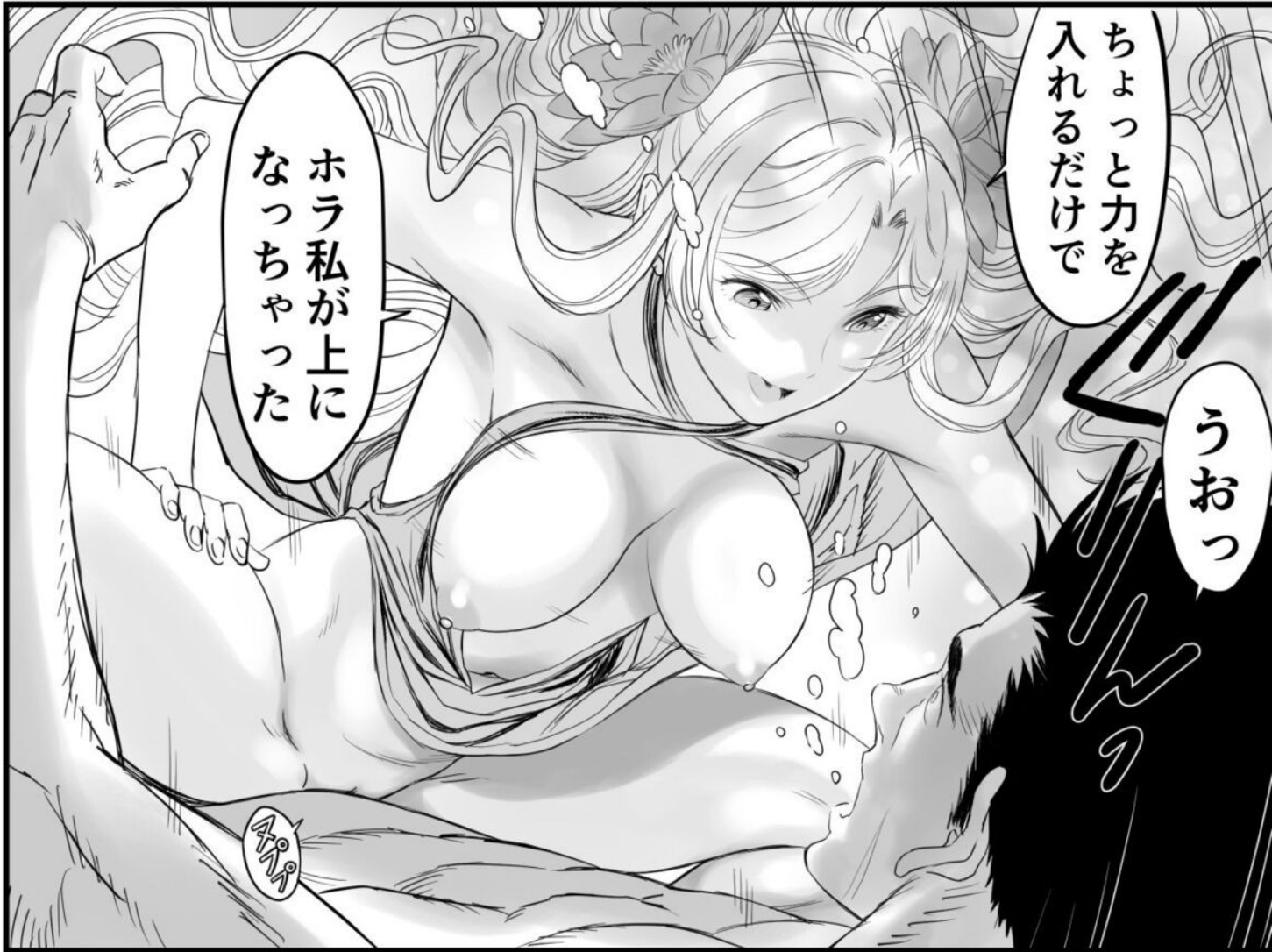
でしよう？

だから



…それにしても  
水の中って

不安定で  
体位を維持  
するのが中々…



ちよつと力を  
入れるだけで

うおっ

ホラ私が上に  
なっちゃった



大好きさ

乗られたこと  
無かったけど



女神に  
乗られるのは  
お好き？



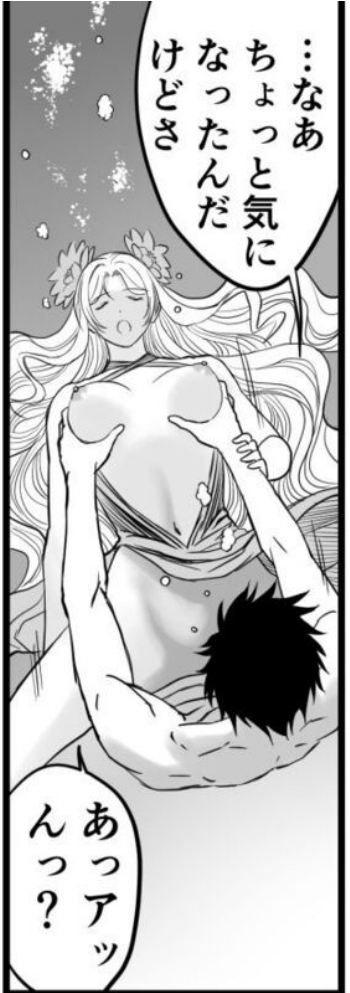
：なあ  
ちよつと気に  
なつたんだ  
けどさ

アンタみたいなの  
イイオンナがさ

：言つちや  
悪いが

何でこんな  
辺ぴな森の

廃れた泉  
なんかに住んで  
いるんだ？



あつアツ  
んっ？



もつとなんか  
こう豪華な  
神殿とかに住んでる  
イメージが：

：貴方達  
人間世界には  
階級というものが  
あるでしょう？

ん：ああ  
貴族とか  
平民とか…？

そう  
それがあ  
るのよ

女神の  
世界にもね



だから  
私はここに  
いるの



貴方が言うような  
神殿に祀られ  
多くの人々に  
崇められるような  
女神は

私よりずっと  
上なのよ

わりい：  
女神も色々  
大変なんだな

そう  
大変なの

そこは  
人間と一緒よ

じゃあ少しは  
ストレス解消に  
なったかい？

そうね  
悪くないわっ

ふふっねえ  
もう出そう  
なんじゃない？

…出して  
いいわよ

中に

オチンチンパンパンに  
膨らんでいるわよ？

そんなっ  
女神様の  
オマンコに  
中出しなんて  
畏れ多いっ

なんか  
白々しいわね



いいから  
出しなさい  
貴方の  
ザーメン

いーっぱい  
捧げなさい♡

この女神の  
オマンコに



あら女神だって  
スケベなことは  
好きよ?

うう...



こんな  
森の奥に

こんなスケベな  
女神様がいたなんてな

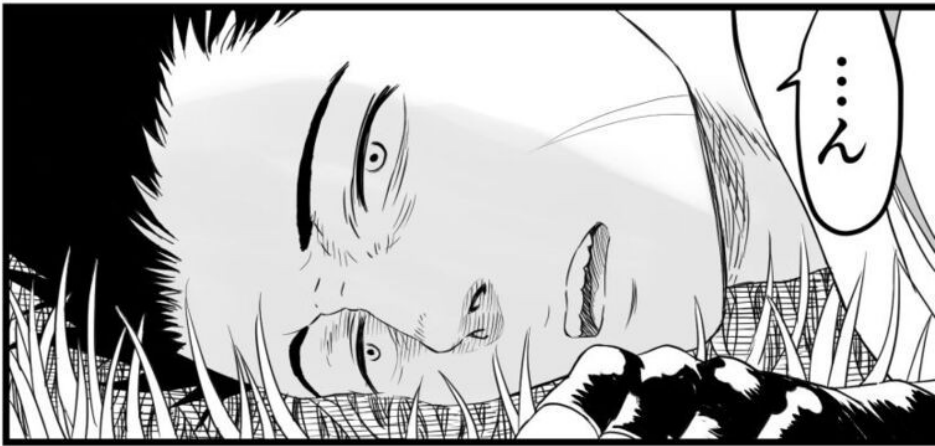


さあっ  
出しなさいっ

ホラッ  
ホラッ  
ザーメンッ...









兔  
と  
亀  
と  
草



うわあ…

あの山を  
越えるのは骨が  
折れそうだなあ

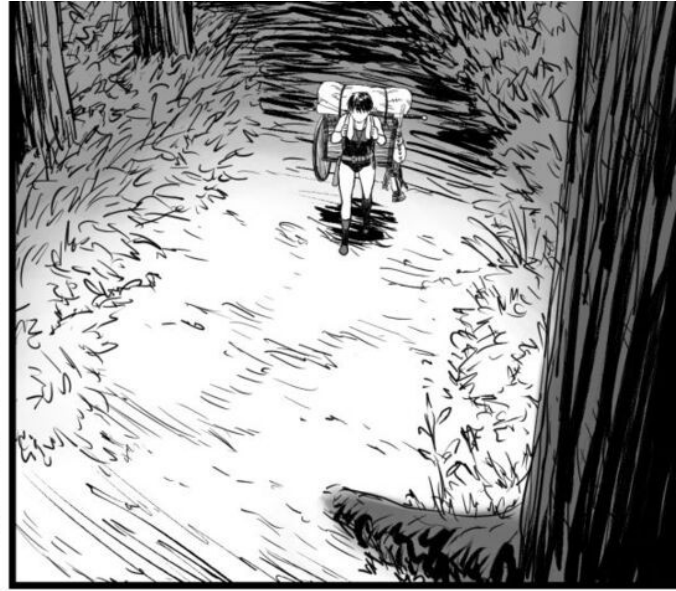
私の足で  
どれだけ  
かかるか…

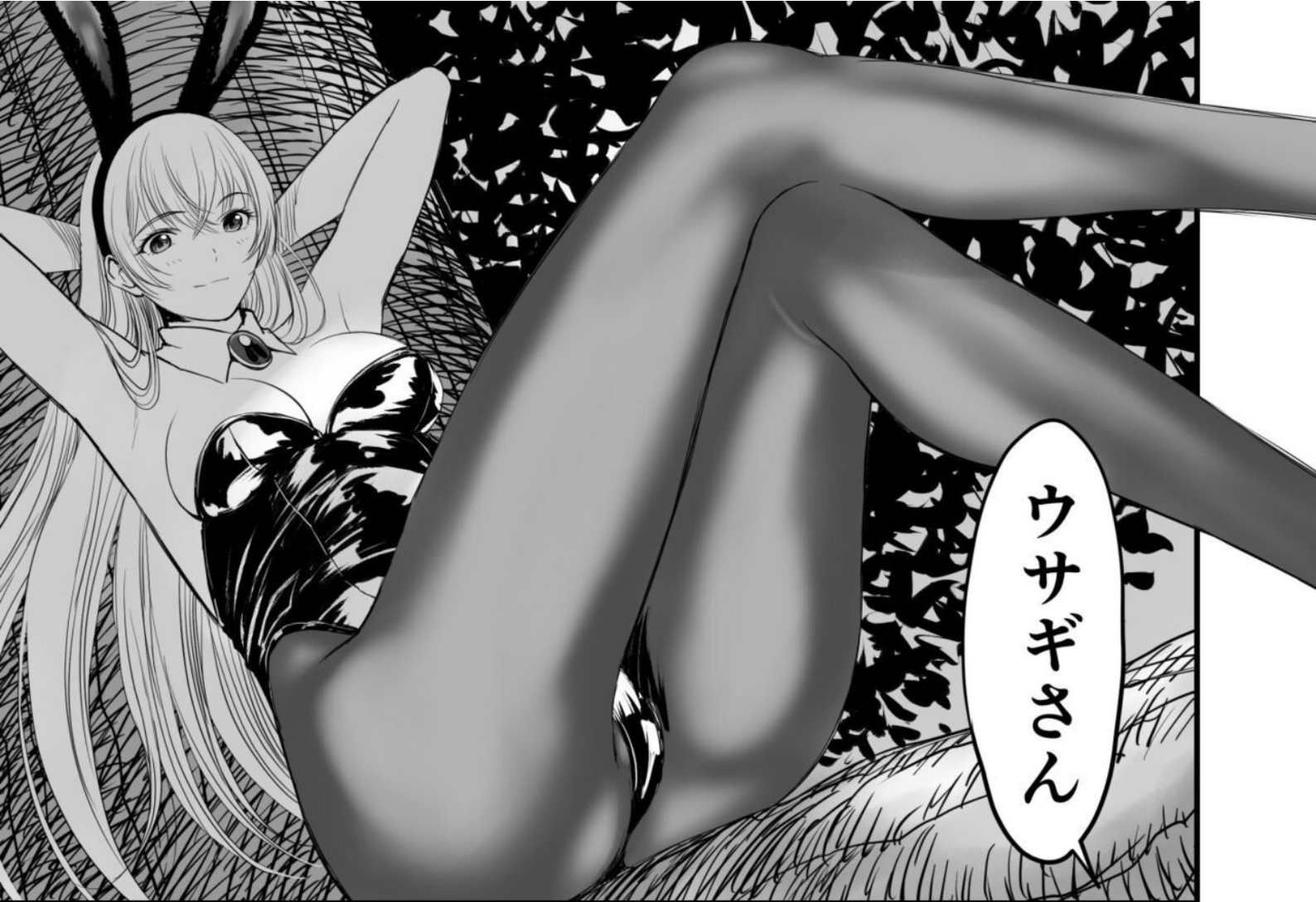
遅くても  
歩き続ければ

でも  
挫けません

ゴールには必ず  
辿り着くのです!!

サッ





ウサギさん



この山を越える  
つもりなのかなって

ただちよつと  
気になつちやつて  
そんな汗だくで  
ゼーゼー言いながら



何か御入り用  
ですか？

いらつしやいませ



カメさんのその足で  
大丈夫なのかなって



…そのつもり  
ですが  
何か？

んーだからね



んーん  
特に何も



私の足じゃ  
この山は越えられない  
とでも？

あーんーん  
そんなこと言っ  
てないよ

ただすっごく時間か  
かかるんじゃないかな  
って思っただけでー



遅くても  
時間がかかっても

ゴールは  
できます

あはは  
まあそうだけど

そのゴールって  
一週間後？  
それとも一ヶ月位？

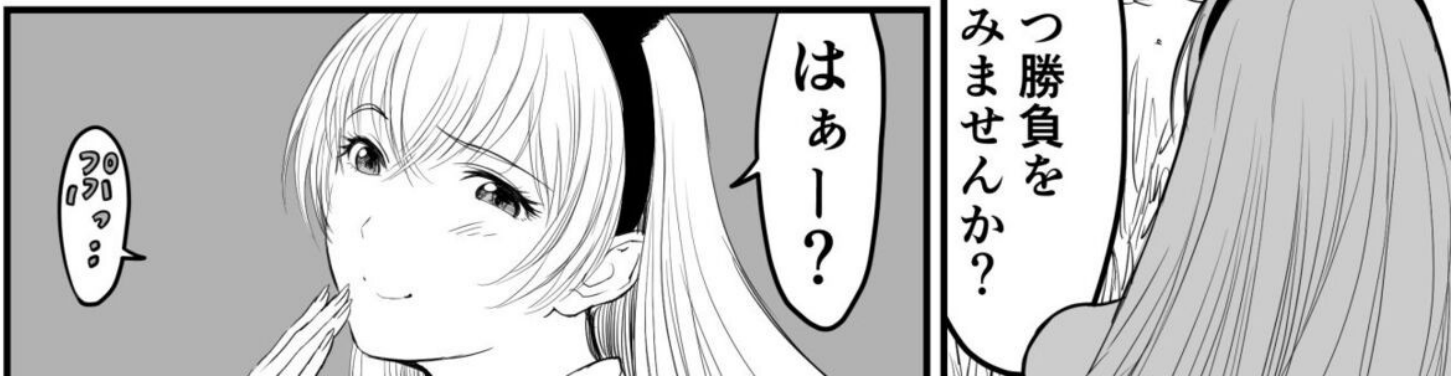


…そこまで  
言われるなら

どうでしょう  
ウサギさん

私と  
ウサギさん

どちらが先に  
この山の麓まで  
辿り着けるか



はあー？

2011??

ひとつ勝負を  
してみませんか？

あはは  
何言ってるの？

カメ族のあなたが  
ウサギ族の私に勝てる  
わけじゃないじゃん！

分かりませんよ

勝負は水物と  
言うでしょう

…勝負って  
ことはー

私が勝ったら  
何かご褒美でも  
くれるのかな？

私の商品から  
好きな物を  
差し上げます

カ  
シヤ

その代わり  
私が勝ったら…

そのピンピン耳  
ください

引っこ抜いて  
耳を四本から二本に  
してあげます

気持ち  
悪いので

ハ  
ア  
ー

ハ  
ア  
ー

へー言っ  
てくれる  
じゃない

トク

いいわ  
その勝負  
乗ってあ  
げる

どうする  
の  
すぐに  
始める？

ええ  
構いま  
せんよ



どんっ!!

じゃあ  
ここから  
ね

よー...



ドドドド

ちよ



…またやって  
しまったなあ  
私の悪いクセ

煽られると  
カッとなって  
すぐに噛み  
ついちゃう



うわあ…  
速い

速すぎる…

おわ



でもまだ  
負けるとは  
決まってるない

わずか  
だけど  
勝機はある



スケベで  
怠け者

それが  
ウサギ族

十人に聞けば  
十人そう答える

そこが  
付け目



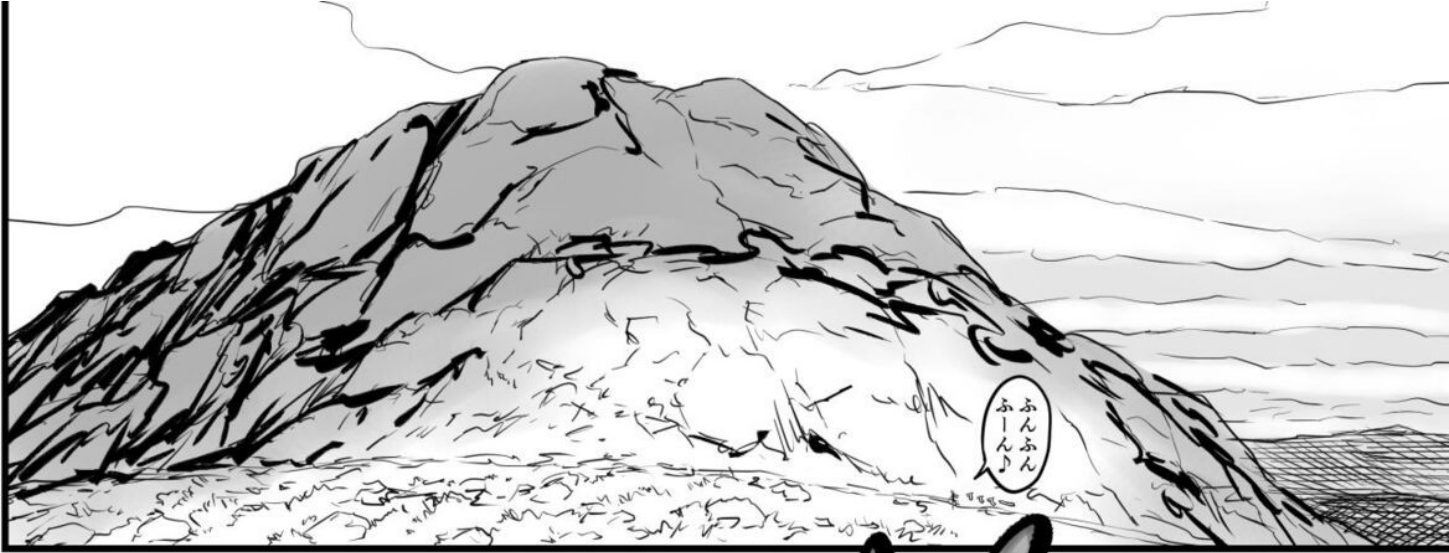
私はただ  
歩を進めるのみよ

その可能性に  
賭けて



これだけの  
身体能力の差

あのウサギは  
必ず油断する





ドラゴン族  
…っ!!



あれは…

あのシルエット  
は……!!

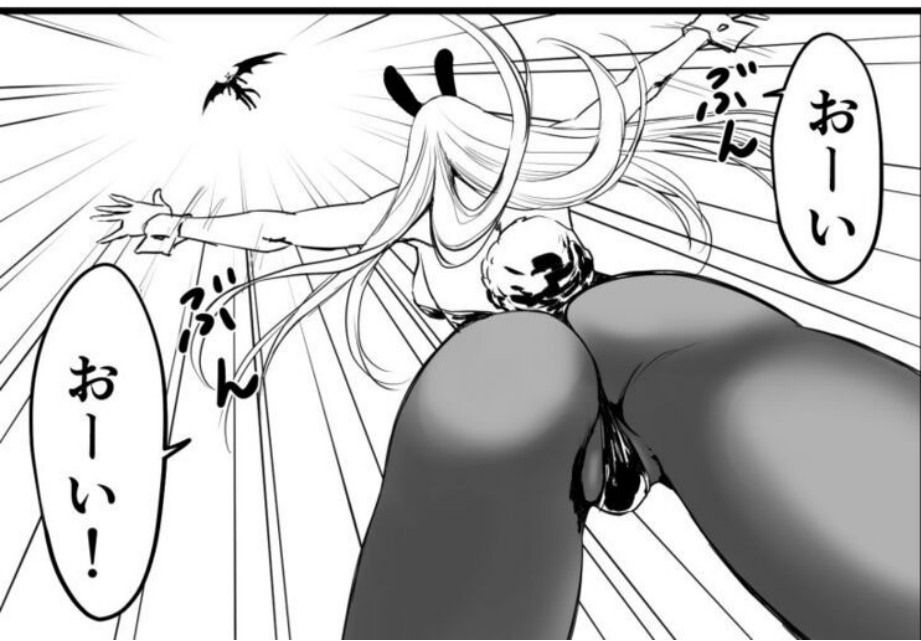


これは逃す手は  
無いっ



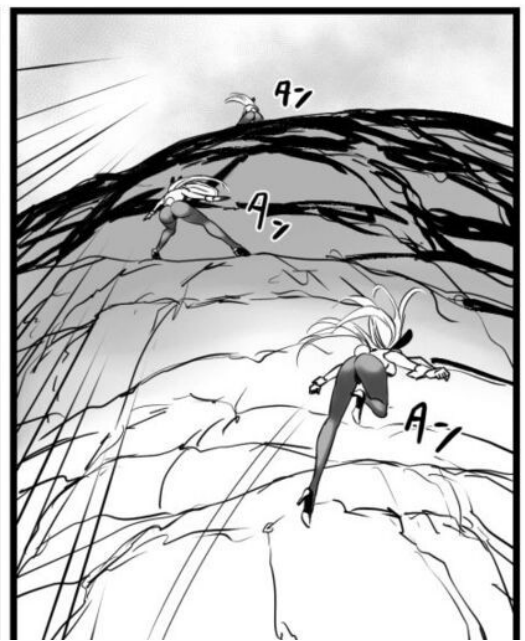
しかも男<sup>オス</sup>ー♡

ウツソー滅多に  
町に降りてこない  
激レア種族じゃーん  
ちよーラッキー♡  
こんな高い所  
お散歩したた  
んだー



おーい

おーい!



A-

A-

A-



そ…そうかい  
ありがとう  
それで  
ウサギ族の  
お嬢さん

僕に何か  
用かい？



ヤツバ

ちよー  
イケメン♡



ちよつとキミ  
大丈夫かい!?

まさか  
高山病とか  
…!?



ハア

ハア

ん…

ん…?



ちよ…

はあ…  
たくましい  
大胸筋



そうです…  
かかっちゃった  
んです病

恋の…病…

はあ…

は？



かたあーい  
オチンチン♡

きつ  
君っ!!



洗濯板代わりに  
なりそうなゴツゴツした  
腹筋…



そして

キラ



しまった  
僕とした  
ことが…!

そうだ  
ウサギ族  
は…



おふっ

うふふ



スケベで  
淫乱!!

もみ

おっきおっき  
してきた♡

もみ



それじゃ  
ぬぎぬぎー

スルルー

あつ



あああつ  
なんか  
ごめんっ

これは  
その…



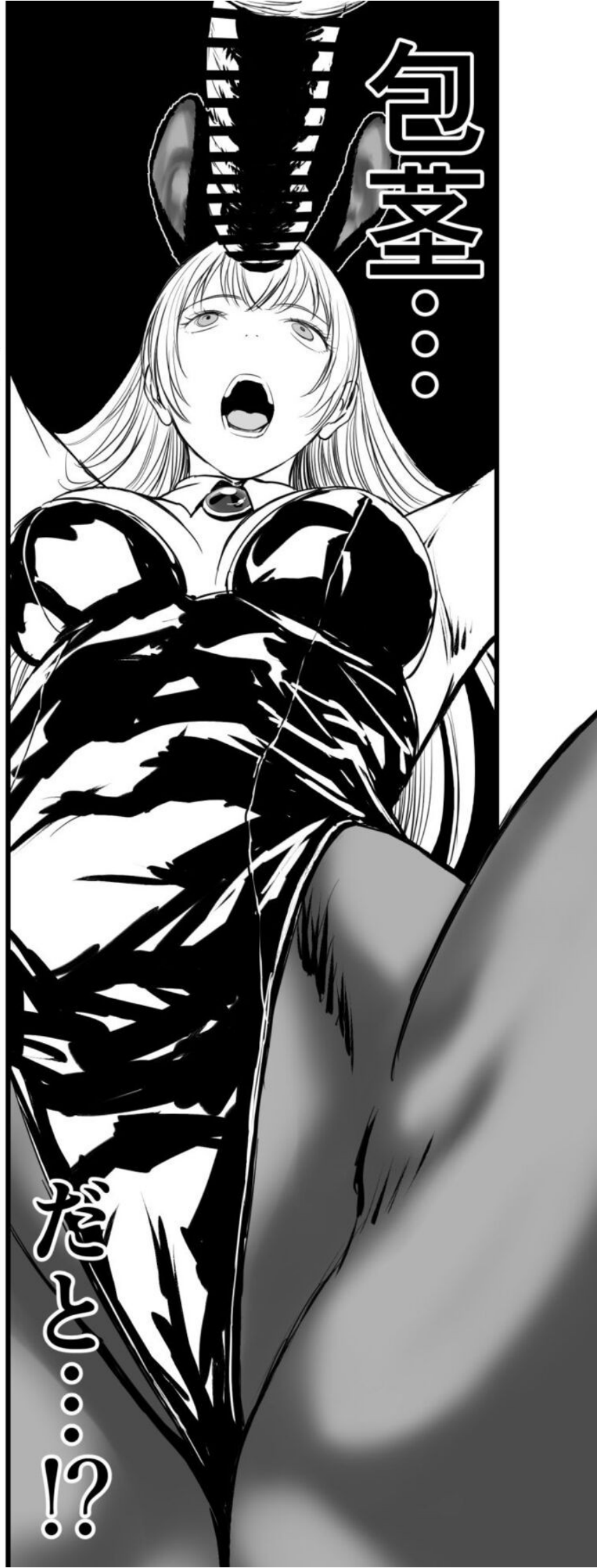
ほ



なっなんだ  
その力才は  
……!?

まあ  
に

フツ



包茎  
○○○

だど…!?







ドラゴン族の  
包茎チンポなんてエ

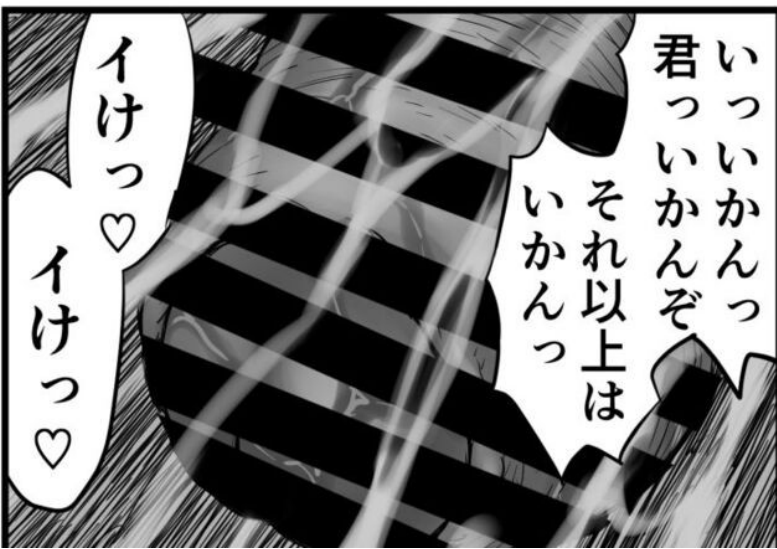
サイコーの  
ごちそーだもん



ブヨブヨの皮に  
覆われた中身はあ



ガチガチパンパンの  
極太ソーセージ♡



いっいかんっ  
君っいかなぞ

それ以上は  
いかなっ

イけっ♡

イけっ♡





おまけに

ゴウゴウ

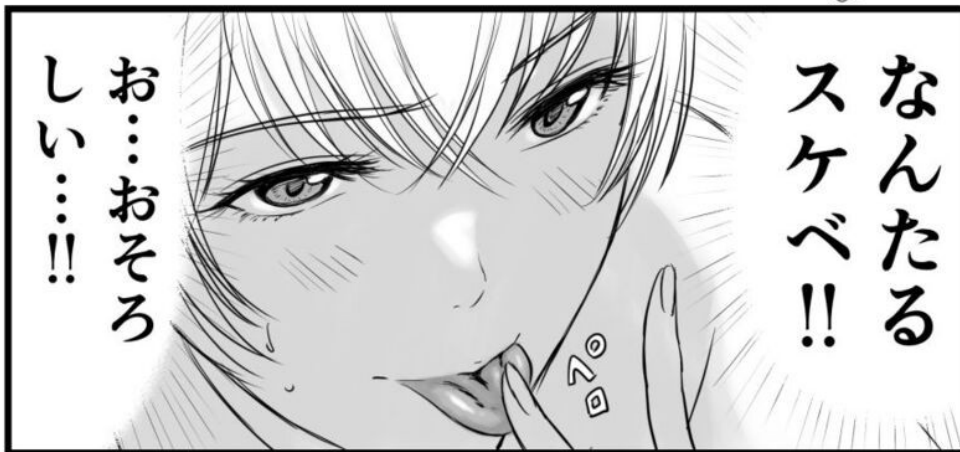
肉汁ならぬ  
ザーメン汁が  
たっぷり  
飛び出てくる♡



はあ…

ワ  
ロキ

んはか



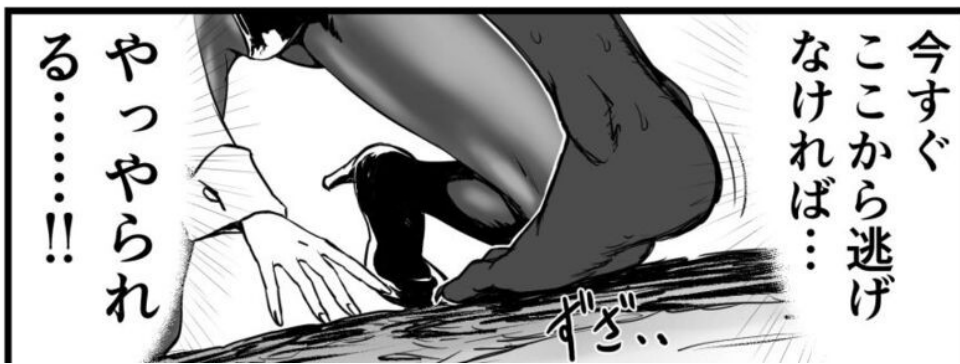
なんたる  
スケベ!!

お…おそろ  
しい…!!



初めて  
ウサギ族の女子と  
手合わせしたが…

これは  
なんたる…



今すぐ  
ここから逃げ  
なければ…

やっやられ  
る…!!

やらられるぞ  
僕は……!!

はあ

このウサギに!!

どーしたん  
ですかあ  
おにーさん

はあ

はあ

んー?

なのに……  
体が……  
動かない

まさかあ  
こんなんでもう  
おしまいってことは  
ないですよー?

足も  
翼も!!

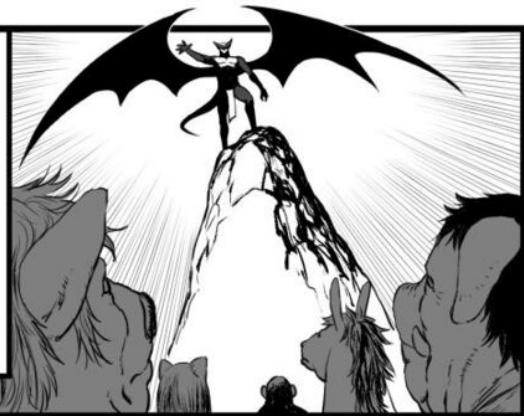


私い  
おにーさんに  
まだあ

ほ  
か

なーんにも  
シてもらって  
ないんですよ？

僕もそれを  
誇りに思っ  
ている



ドラゴン族は  
自他共に認める  
至高の種族だ



僕の本能が

呼び覚まされる



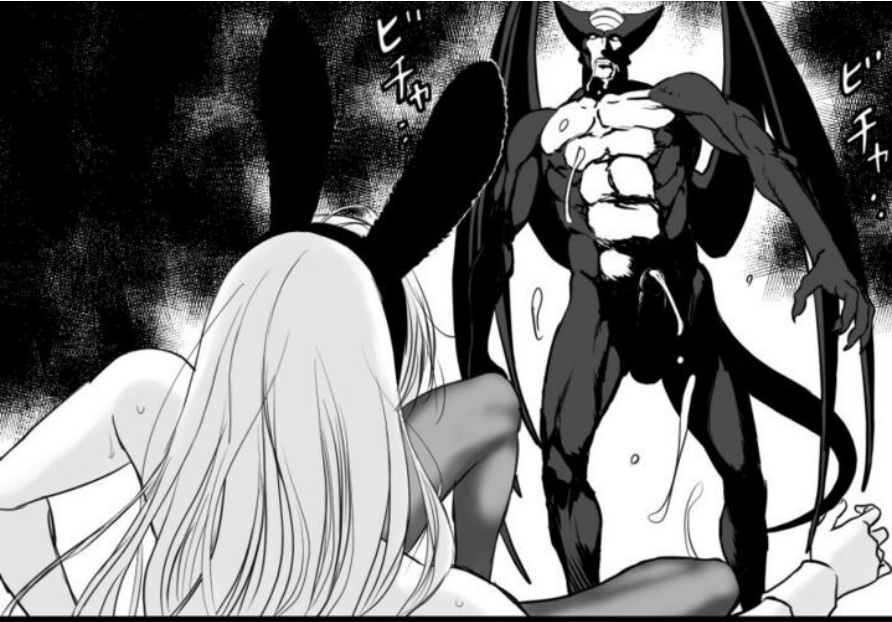
今はただ…  
この目の前のオンナを

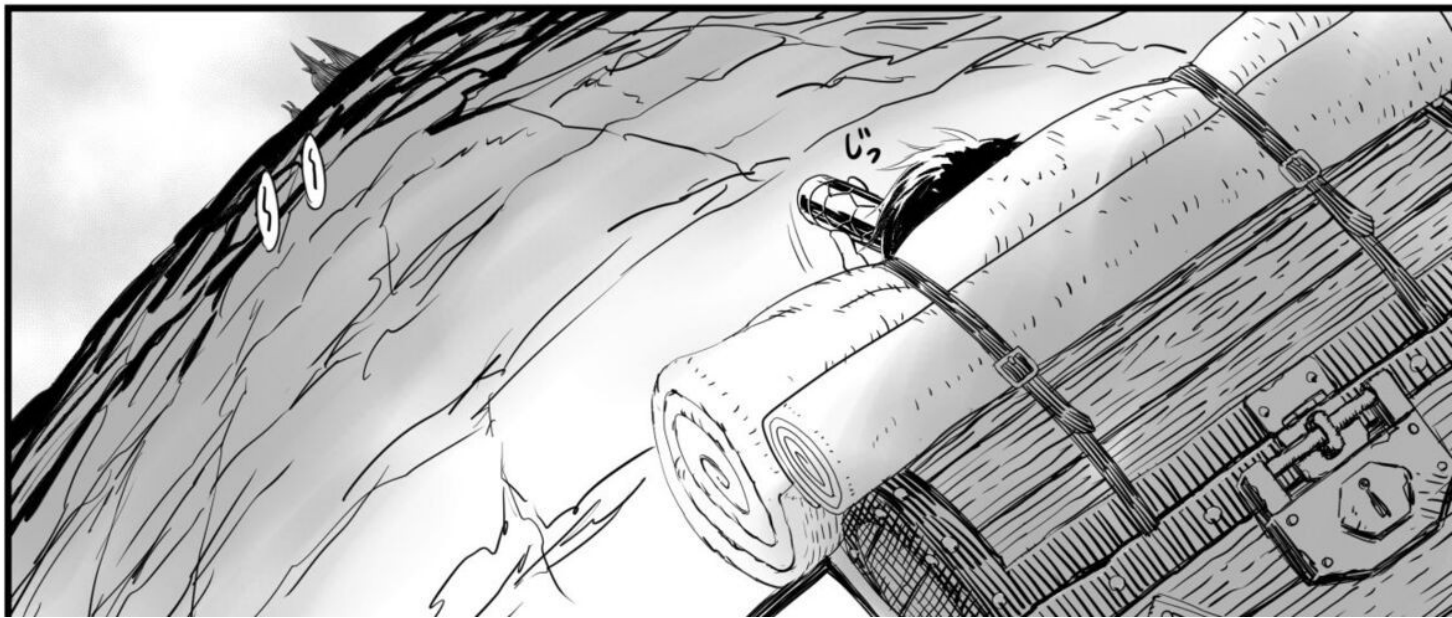
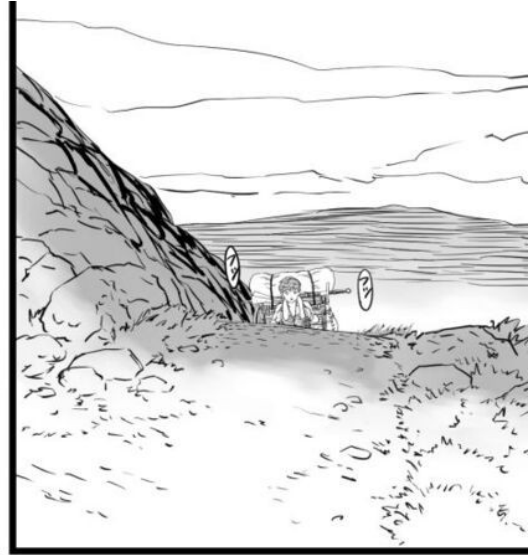


ゆえにドラゴン族は  
常に気高くなければ  
ならない  
だがしかし…このウサギを  
前にするとそんなものは  
クソくらえと思ってしまう











ピストンスッゴイから勢いで  
どんだん端っこに追いやられ  
ちゃってるよお!

あはっ♡

落ちちゃうっ  
崖っぷちっ  
ちよつと待って

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ



さすが私

。。。よしっ

よゆーこいて  
昼寝でもしてるかと  
想像していましたが

その上をいって  
いましたか

……っ

アアーン

……

今が絶好の  
チャンスです

ガマンです  
耐えるんです

何を足を止めて  
いるのですか  
私は

がしん  
しようたん

ここが  
踏ん張り所です

今は  
チンポより

ゴール  
です



ピヨーン

ドラゴンチンポ  
気持ち良すぎて  
お尻がピヨーンピヨーン  
しちゃうっ



くるっ?



またきちやう?

いいよっ  
出してっ  
また  
ザーメン出してっ







……！

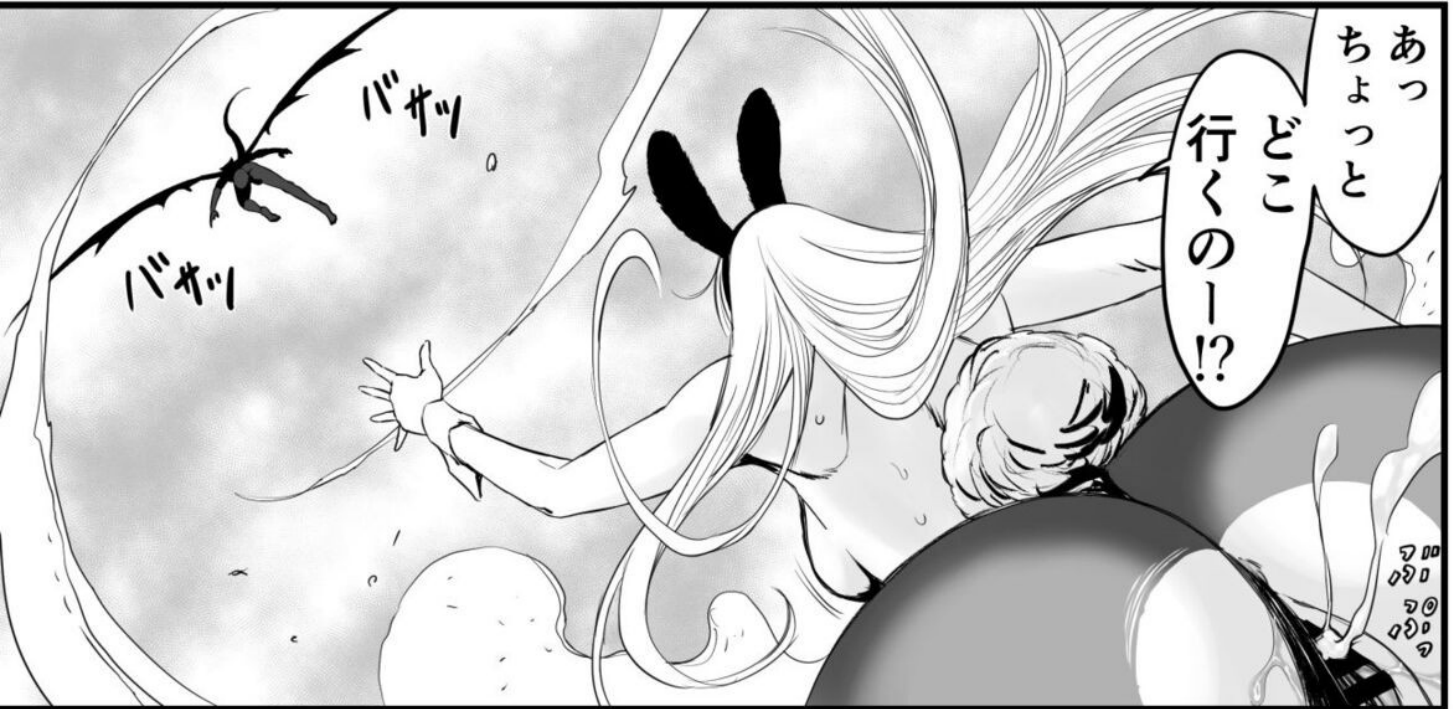


ふはははは  
頭ウザすぎー！！

でもめっちゃ強そー



キヤッ



あつちよつと  
どこ行くのー!?

バガッ

バガッ



良いですよ

これは中々良いペースです……！

ガッ

ガッ



フッ

フッ



これなら  
……



何だか  
コーファンしていて  
ヤバい感じが  
しますね……

ハァハァ……



どろろろ……



……さつきウサギと  
交尾していた  
ドラゴン族……

なぜ私の  
所へ……



私の股間から  
ダダ漏れの

愛液のニオイを  
嗅ぎつけて……!?

アィ  
アィ  
アィ



はっ

まさか



あの男の  
チンポ…

…ん？



今は相手を  
しているヒマは  
無いというのに…

くっ



ドラゴン族  
の…

包茎…



バッキバキに  
ボッキしてますが

包茎!!



…そうだ

その手なり…  
あるいは…!



私の  
マンコは

とつくの昔に  
臨戦態勢なん  
ですから…!!



いいでしょう



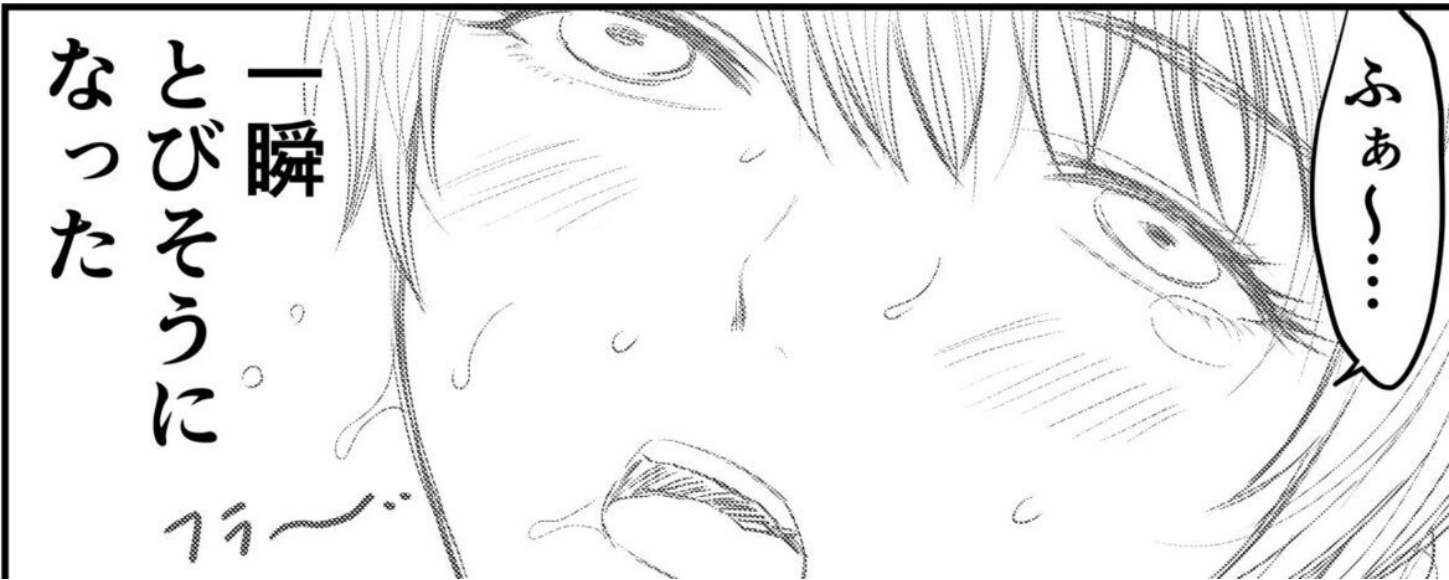
少しだけ相手を  
してあげます



おっ



んひっ!!



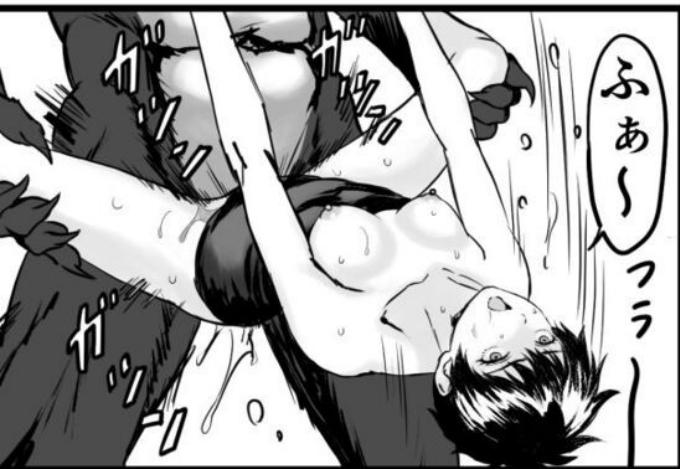
ふあ〜…

一瞬  
とびそうに  
なった



これは  
中々に

強烈  
ですねっ



ふあーっ



何という  
デカさ

何という  
衝撃っ



はっ

いけないっ



スゴすぎて  
気絶しちゃうそうっ

自分でセルフ効果音  
でも言ってる気を紛らせ  
ないと



ズッ

ズッ

ズポッ

ズポッ



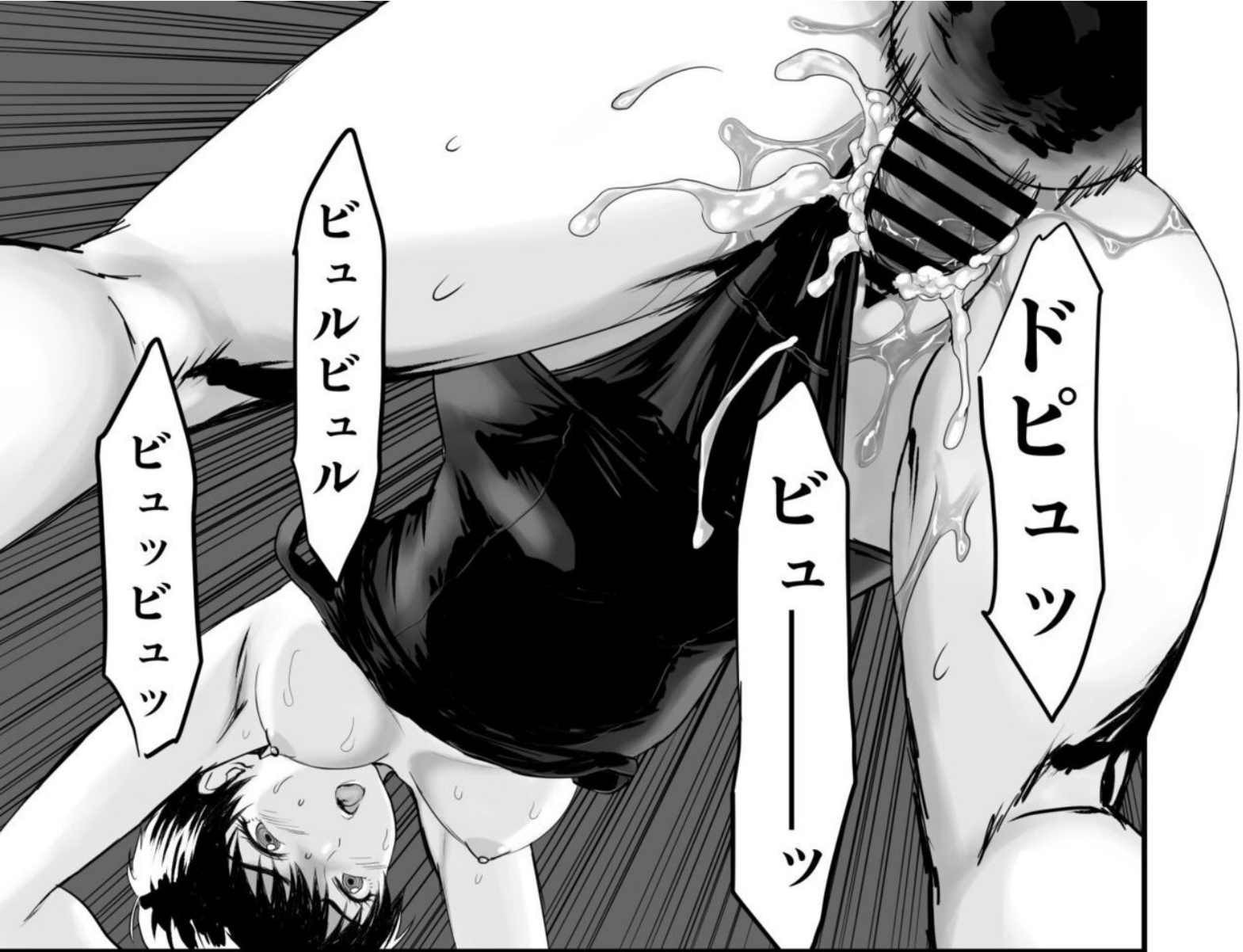
これはあ  
くるううっ

あああッズポポッ  
くるっポポポポ  
ズポポポポ



ズポズポズポズポ  
あああっ速いっ

効果音追いつ  
かないっ



ドピユツ

ビュ——ツ

ビュルビュル

ビュツビュツ



ビュ… やつと…  
止まった…

はあはあ…

よし…なら…



ビュ…って  
まだ出てるう

効果音終われ  
ないっ



もしもし  
カメラさん？

カメラさん♡

急に飛んで  
いったと思ったら

カメさんと  
お楽しみ中だった  
かあ

……くそ

もう追いついて  
きましたか…

うっわ  
すっごい中出し  
されたねー

さすが  
上級種族

ザーメンの  
量も底無し  
なんだね

私に六発も  
出したのに  
まだこんな  
出るものなの？

ほらかメさん  
余韻に浸るのは  
そこまでにして

まだお仕事が  
残ってるでしょ？



おにーさんの  
ザーメンと愛液で  
ベットのベットになった  
ホーケイチンポ  
お掃除して  
あげなきや♡



ほら私も  
手伝って  
あげるから

ぺちゃ...

一緒に  
ぺろぺろ  
しよ♡



は...あ...



まだ足りないって  
カンジかなー？

すっごい愛液  
ダラダラ



カメさんに  
譲ってあげるね

あ…



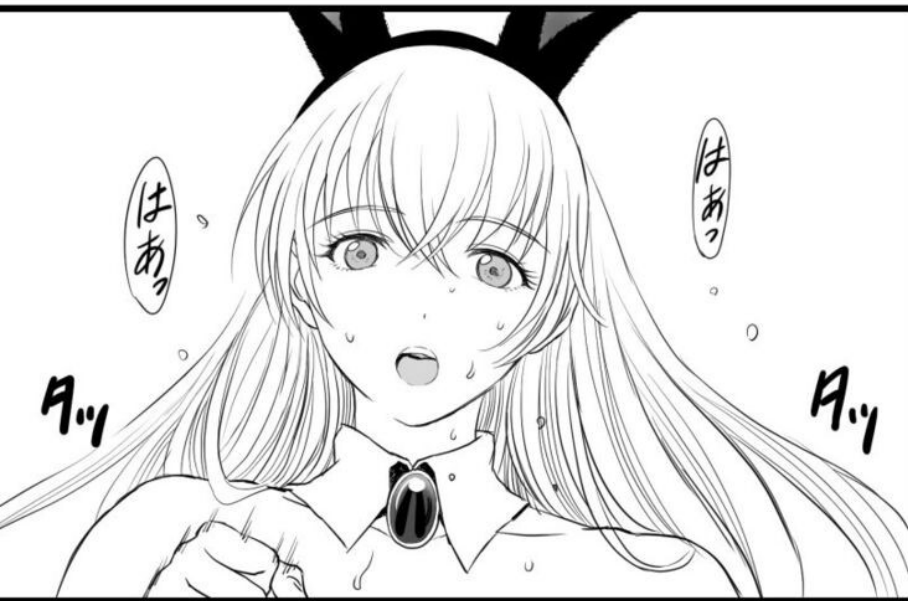
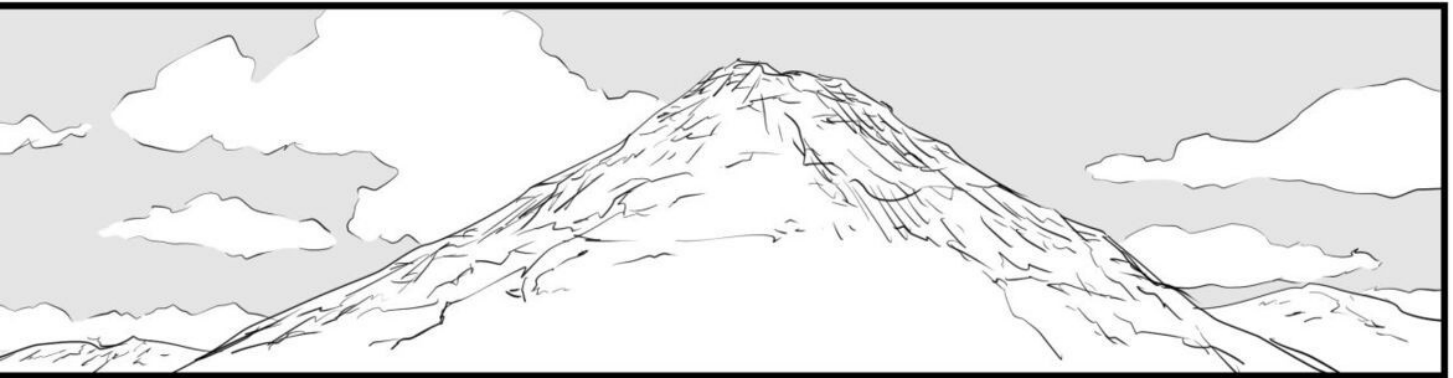
チンポも  
ギンギンに  
戻ってるし

私は六発  
もらってる  
から





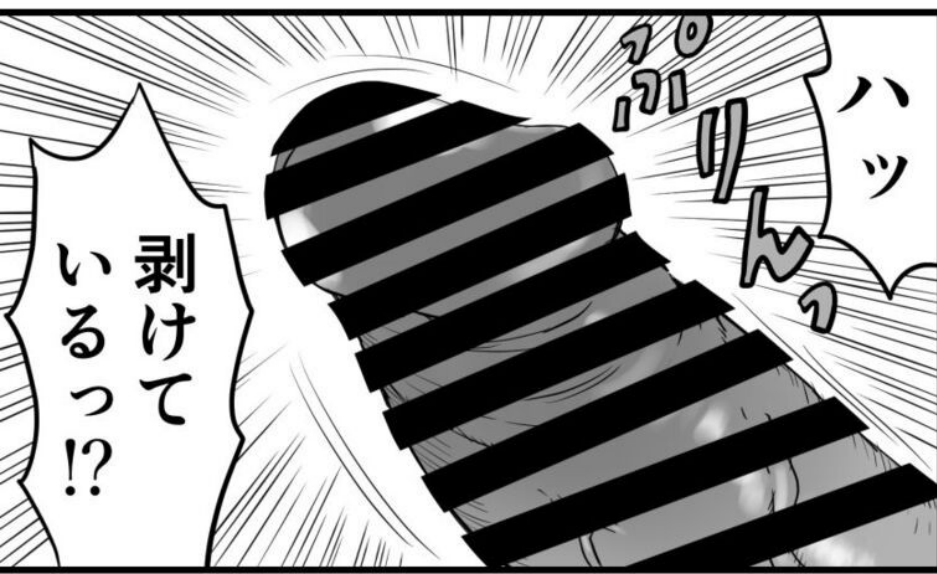
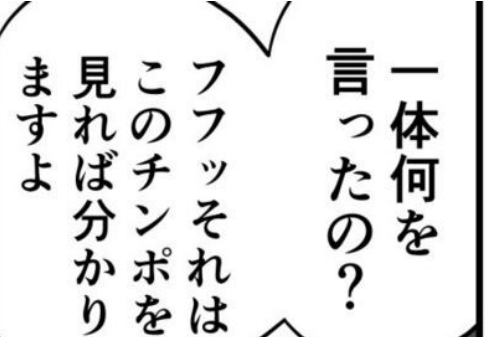








チンポ  
を？





完敗ね

ペチャ

...



勝ちには勝ちですが結局私一人の力ではありませんから

これでアナタの耳を取っても寝覚めが悪くなるだけです



…約束は守らないといけないわね

いえそれには及びません

…ありがと



でもひとついいかしら



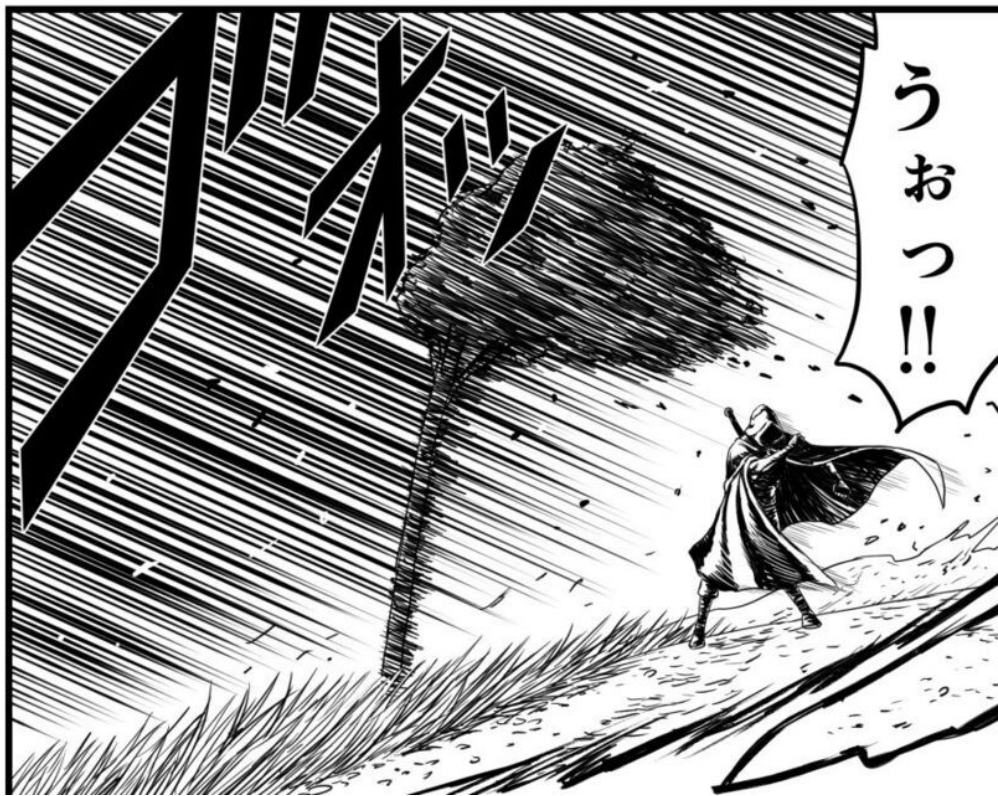
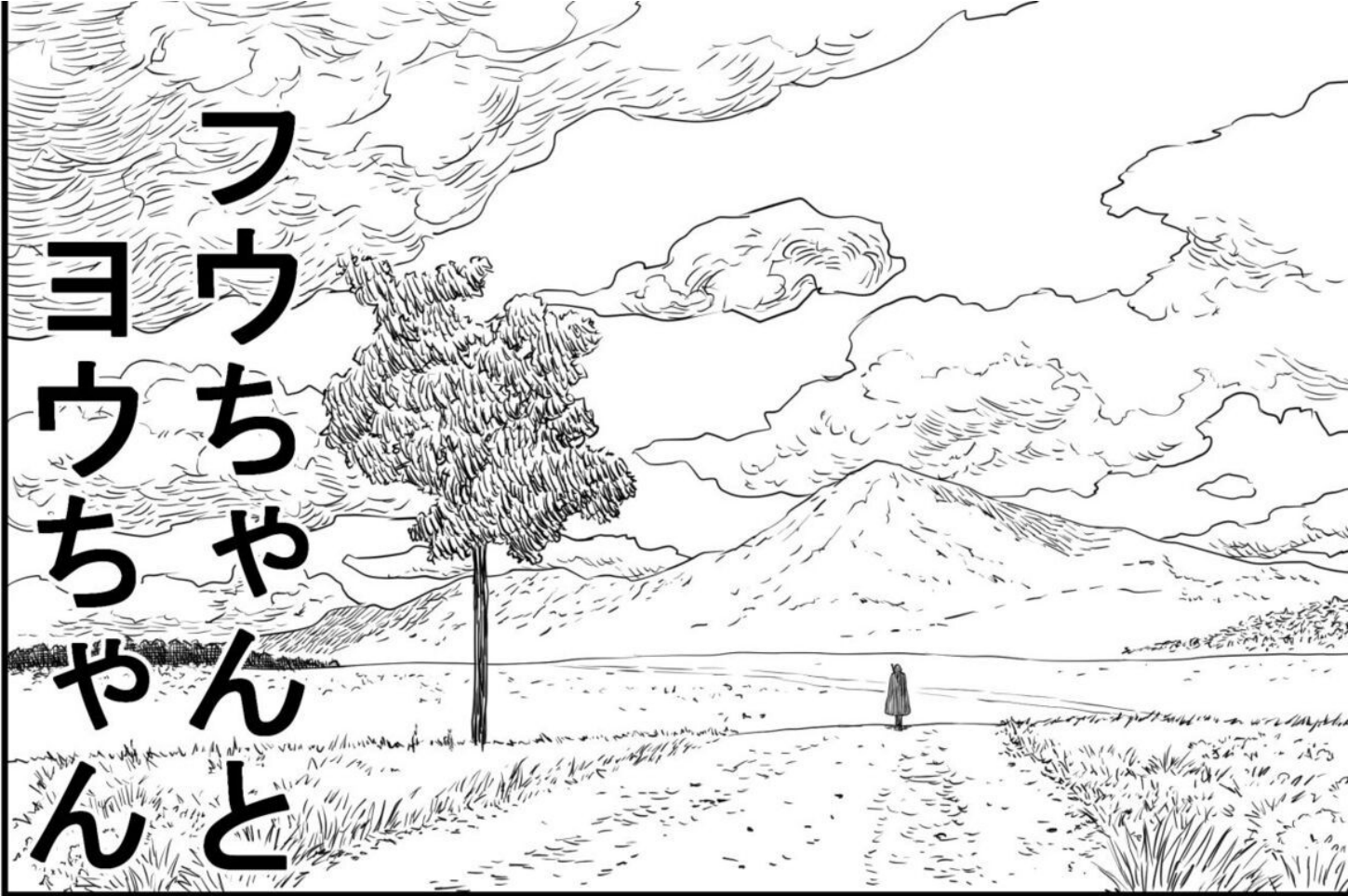
チンポはやっぱり包茎に限るでしょ

何で剥いちやうかなあ

…は？ ナニ言ってるんですか

包茎なん





開けた  
場所だから  
モロに…



くそつたれが  
風ごときがあ



オレの歩みを  
阻もうっての  
かああ

うぬぬぬぬ

うおおお  
おおお



うぐぐ…



負けるか  
よおオ





治まった  
か...?

変な天気  
だったなあ



オ  
オ  
オ  
オ



ダメだったね  
フウちゃん!

ハリーイ  
残念♡

...



無駄だよお  
どれだけ  
やっても

あの旅人の外套は  
取れないって



…まだよ

こうなったら  
竜巻で…!



いつも強引  
なんだよ  
フウちゃんはあ

…そんな  
言うなら  
ヨウちゃん  
やってごらんよ



こーいうのはねえ  
脱がそうとするん  
じゃなくて

脱ぎたくなるように  
してあげるのよ

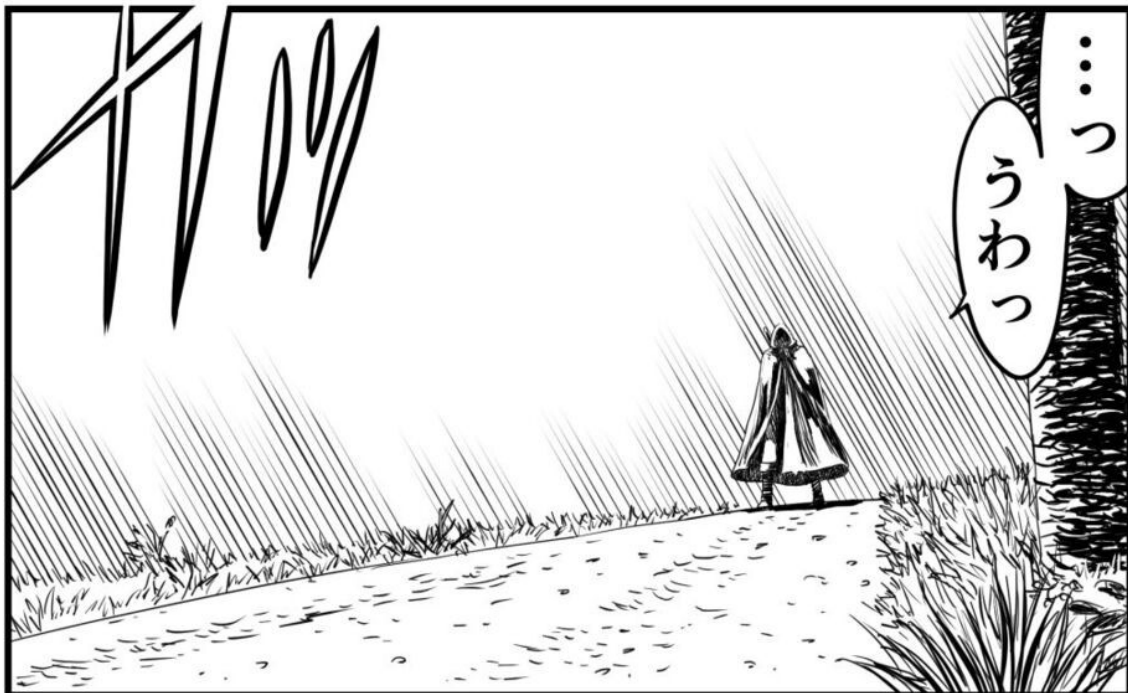
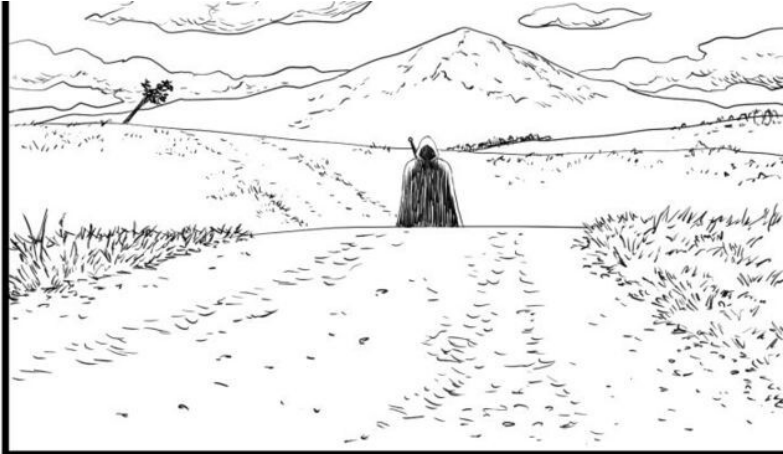


いいよお

まあ  
見てなさい



何だ



うわっ



なんかあつ



火竜の棲む火山に登った時並みの熱さだ!!

あちちちちちちち



あつつ!!



これは耐えらんねえ

ああくそっ

何だこの強烈な日差しは!?



さつきから  
何なんだ一体…



だあー  
あつ  
ちいー

もわ  
あ



どーお？

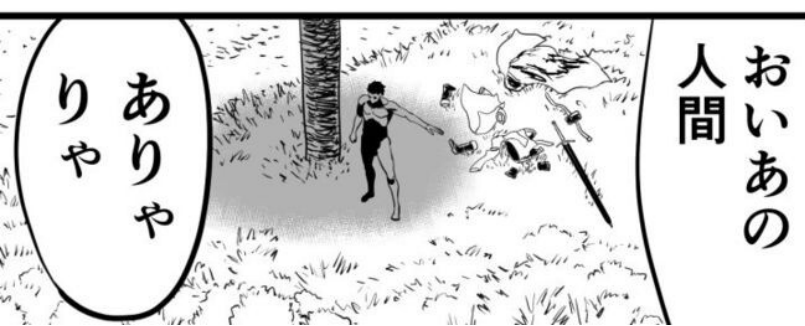
ふん

…フン



まあちょっとした  
ヒマつぶしには  
なったね

…ん



おいあの  
人間

ありや  
ありや





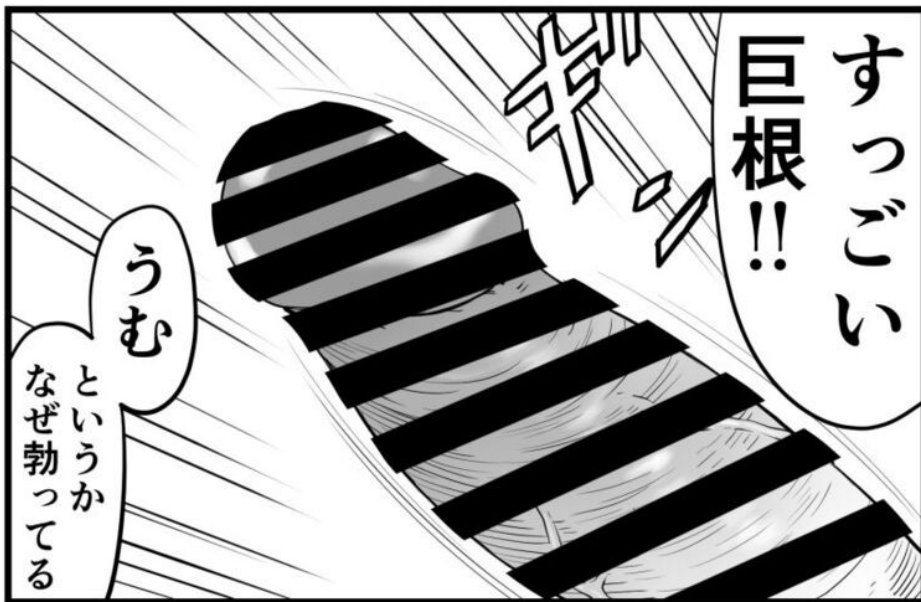
あちやーちよつと  
あぶり過ぎたかー

フ：加減も大事  
ということだな



素っ裸になつて  
るー!!

はーようやく  
スッキリした



すつごい  
巨根!!

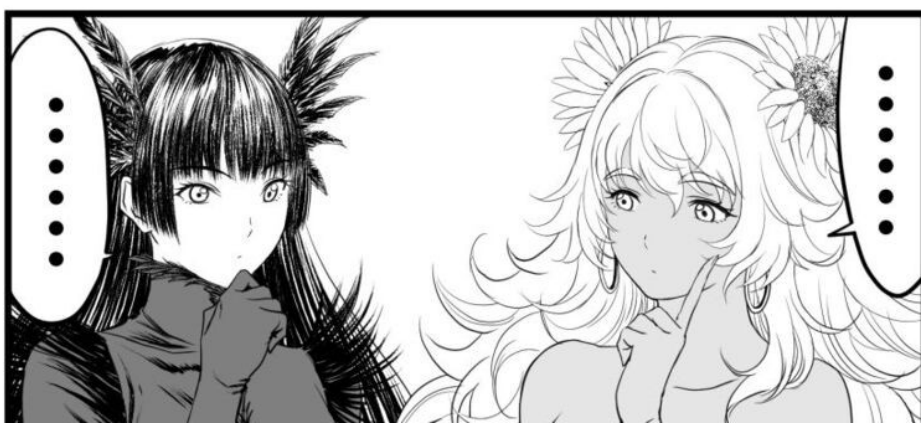
うむ

というか  
なぜ勃ってる



それに  
しても…

わー



……



……

